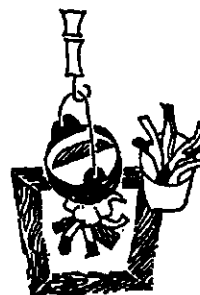


# 農業

平成30年12月号  
会誌 No. 1645



## 目次

総裁 秋篠宮文仁親王殿下……………吉田 岳志 3  
静岡県農事功績者表彰受章農家をご視察

### 巻頭言

躍動する農学……………小川 博 8

### 論壇

変わる品種, 変わらぬ品種……………佐々木昭博 9

### ◆農事功績者座談会◆

キウイフルーツ専作法人経営……………島田 満沖 11  
現地指導者のコメント……………氏家 英樹 22  
意見交換……………24

### ◆寄稿◆

農作業アシストスーツを用いた加工用トマトの  
収穫を視察して……………貝沼 圭二 31

### ◆研究の最前線◆

コメのカドミウム濃度が大幅に低減する  
水稻品種「コシヒカリ環1号」の開発……………石川 覚 33

### ◆農業・農村の現場から◆

東日本大震災復興に向け研究成果を活かした地域づくり (1)  
- 東日本大震災津波被災地農業の復興に  
向けた技術開発の取組み① - ……………岩手県農業研究センター 43

**世界の農業は今**

世界の食料需給見通し……………小泉 達治 48  
- 世界食料需給モデルによる2027年の予測結果 -  
古橋 元  
池川真里亜

**私の経営と志**

父とは別の道で成功を目指す……………金坂 哲宏 54

**統計情報**

平成30年度産4麦の収穫量…………… 56

**農政情報**

平成30年度農業技術功労者表彰…………… 57  
大日本農会だより…………… 58  
編集部から…………… 58  
「農業」年間総目次…………… 59

**表紙写真説明**

ホウレンソウの収穫 (長野県南佐久郡南<sup>みなみまきむらの</sup>牧村野辺山)

南牧村は長野県の東端に位置し、標高1,000~1,500mの高冷地が広がり、冷涼な気象条件を活かして高原野菜と酪農を中心とした農業が行われています。

JR野辺山駅は日本の駅の中で最も標高の高い駅(1345.67m)として有名です。また、標高が高く電波を遮るものが何もない地の利を活かして、日本の電波天文学の「聖地」、国立天文台野辺山宇宙電波観測所では太陽電波の観測、さらに45m電波望遠鏡を中心とした宇宙電波の観測を行っています。

私が代表を務める(株)アグレスでは、仲間とともに雨よけハウス250棟(8.3ha)でホウレンソウ栽培に取り組んでいます。日中の強い日差しと朝晩ぐっと冷え込む高原の気候により、肉厚で甘みが強い野菜に育ちます。収穫後は鮮度を保つため、一本一本ていねいに手作業で土の拭き取り、ビニールハウスの中で大切に育てることにより、鮮度を落とす原因になる雨や泥を避け、新鮮でおいしい野菜を作っています。さらに高冷地では害虫被害が少ないため、農薬の使用は最小限度にとどめ、安心・安全な野菜作りを心がけています。

((株)アグレス 代表取締役 土屋 梓)